

平成22年度市の決算

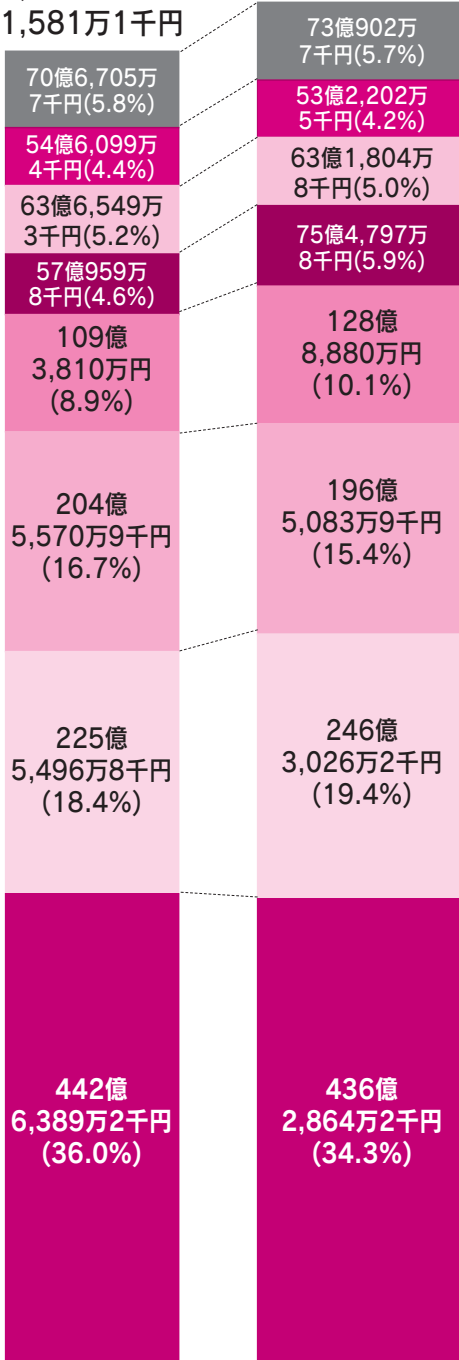
平成22年度の秋田市一般会計・特別会計の決算が、昨年12月の市議会で認定されました。みなさんが納めた税金や国などからくるお金がどのように使われたのかをお知らせします。

一般会計

歳入

平成22年度
1,272億
9,562万1千円

平成21年度
1,228億
1,581万1千円



県から子ども手当分として約5億円がきました

市債が増えたのは、北部市民サービスセンターの整備事業や斎場の改築事業などのためです

法人市民税が約3億円増えましたが、個人市民税が約8億円減りました

平成22年度一般会計の収支をみてみよう

一般会計は福祉や都市基盤の整備、教育など、市の一般的な事業に使われる経費です。

平成22年度は、歳入から歳出を差し引いた17億2千785万円から、平成23年度に繰り越した事業の財源となった5億4千895万5千円を除いた、11億7千889万5千円の赤字になりました。

歳入では、景気低迷などの影響で市税が約6億円減りました。また、中通一丁目地区市街地再開発や子ども手当にかかる県からの支出金が約18億円増えています。

歳出では、子ども手当の給付や生活保護世帯の増加などにより民生費が約56億円、ごみを処理する溶融炉の能力増強整備や斎場の改築などにより衛生費が約25億円、それぞれ増えています。

特別会計

特別会計は、介護保険や国民健康保険など特定の事業を行う場合、その収入を支出に充てるため、一般会計と区別している会計のことです。

会計別	歳入決算額 (A)	歳出決算額 (B)	差引額 (A)-(B)
土地区画整理会計	13億9,982万0千円	13億 73万2千円	9,908万8千円
市有林会計	1億8,117万8千円	1億4,054万9千円	4,062万9千円
市営墓地会計	1億9,446万4千円	1億8,392万9千円	1,053万5千円
中央卸売市場会計	5億8,011万1千円	5億4,989万7千円	3,021万4千円
大森山動物園会計	5億4,606万9千円	5億4,466万7千円	140万2千円
廃棄物発電会計	1億7,982万6千円	1億7,982万5千円	1千円
国民健康保険事業会計	318億8,573万6千円	307億9,325万9千円	10億9,247万7千円
老人保健医療事業会計	5,693万4千円	5,693万4千円	-
母子寡婦福祉資金貸付事業会計	1億3,238万9千円	7,067万9千円	6,171万0千円
介護保険事業会計	227億5,730万5千円	225億9,477万2千円	1億6,253万3千円
後期高齢者医療事業会計	29億2,036万8千円	28億4,418万6千円	7,618万2千円
合計	608億3,420万0千円	592億5,942万9千円	15億7,477万1千円

公営企業会計

(市立秋田総合病院)

企業決算では、営業面から見た収支を「収益的収支」、設備など所有財産の面からみた収支を「資本的収支」と表しています。

公営企業の経営は、市民のニーズを満たしながら、収益的収支に大きな赤字が出ないような経営が望ましいといえます。

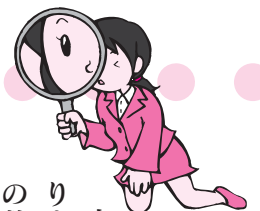
※市の公営企業である水道事業、下水道事業、農業集落排水事業の決算は、昨年の広報あきた12月2日号8ページに掲載しています。

平成22年度 市立秋田総合病院の決算

収益的 収支	収入	91億6,977万3千円
	支出	92億1,329万2千円
	差引	-4,351万9千円
累積欠損金		25億4,206万9千円
資本的 収支	収入	6億7,070万2千円
	支出	10億6,120万9千円
	差引	-3億9,050万7千円
	補てん財源	施設の償却費など 3億9,050万7千円

※資本的収支には消費税を含みます。

市立病院は収入は増えましたが、給与費の増などにより支出が増え、赤字決算となりました。今後より一層、業務の改善と効率的な運営に努め健全な病院経営をめざします。



指標で見る市の財政

自治体の財政の健全性を示すさまざまな指標があります。秋田市の平成22年度決算についていくつかの数値を見てみると、公債費関係では改善が見られるものの、依然厳しい状況が続いています。

今後市では、財源の充実確保、さらなるコスト削減など、歳入・歳出両面から改革を進め、しっかりとした中長期計画のもと、安定した財政運営に努めます。

公債費比率 ▼14・1割

21年度の率 ▼14・3割 類似都市平均値 ▼13・7割

歳入の一般財源(使い道が自由なお金)における公債費の割合。10割以下が望ましいとされています。秋田市の場合、18年度(16・6割)から低下を続けています。

実質公債費比率 ▼13・4割

21年度の率 ▼14・1割 類似都市平均値 ▼10・6割
国が示す基準値 18・0割

一般会計等の実質的な借入金の返済額が標準的な収入に対して、どれくらいの割合かを示す率です。国が示す基準値を超えると市債の発行が制限されます。

財政力指数 ▼0・648

21年度の率 ▼0・671 類似都市平均値 ▼0・738

標準的な行政活動を維持するために必要な一般財源に対して、標準的な状態で徴収できる税収がどれだけあるかという指標です。「1」を超えると財政的に余裕がある自治体といえます。秋田市の場合、景気低迷に伴う市税収入の減少などより21年度から下降し、22年度は21年度に比べて0・023ポイント低下しました。

4月1日(日)から申請を受け付け みなさんの緑化活動を支援

市が平成20年度に創設した「緑のまちづくり活動支援基金」を活用して、緑や花のまちづくりを始めませんか。募集は4月から(ソフト部門は7月30日(月)まで、ハード部門は6月上旬まで)ですが、事前相談を随時受け付けています。

身近なみどりと花いっぱい活動(ソフト部門)

●花苗、生け垣のための支援コース

町内会の花壇に植える苗の購入や、個人宅の生け垣の造成などに助成します。

対象 町内会、2人以上の市民グループ、サークル ※生け垣は個人でも可。

助成 事業費の2分の1以内(上限2万円)

●花と緑いっぱい活動支援コース

商店街の歩道にフラワーポットを置く活動などに助成します。

対象 商店会、町内会、市内に事業所がある法人など

助成 事業費の2分の1以内(上限5万円)

●保存樹の支援コース

「秋田市都市緑化の推進に関する条例」で指定された、民間所有の保存樹の維持管理のための活動に助成します。

対象 個人、団体など

助成 事業費の2分の1以内(上限30万円)



みんなでつくる身近な緑の拠点(ハード部門)

●地域に安全と潤いを提供する緑の拠点づくりコース

ブロック塀を生け垣にしたり、庭を公開するオープンガーデン造成などに助成します。

対象 個人、2人以上の市民グループなど

助成 事業費の2分の1以内(上限10万円)



ブロック塀を生け垣に



●地域に身近な緑の拠点づくりコース

町内会でのポケットパーク造成などに助成します。

対象 市民グループ、町内会、NPOなど

助成 事業費の2分の1以内(上限500万円)

緑のまちづくり活動支援基金事務局(仁井田の秋田市総合振興公社内)または市役所3階の公園課にある申請書でお申し込みください。申請書は同公社のホームページからダウンロードすることもできます。

<http://www.akita-sousin.or.jp/midori/>

*基金では個人や企業からの寄付金を受け付けています。ぜひご協力をお願いします。

問い合わせ 緑のまちづくり活動支援基金事務局(秋田市総合振興公社内) ☎(829)0221 公園課 ☎(866)2154

22年度

決算

特別会計の中から、次の3つをご紹介します。

市有林会計…市有林(約2千700畝)の管理・保育などを行っています

市営墓地会計…平和公園墓地、北部墓地、南西墓地、河辺墓地を管理・運営しています

廃棄物発電会計…総合環境センターの廃棄物発電で生じた余剰電力を電気事業者に売却しています

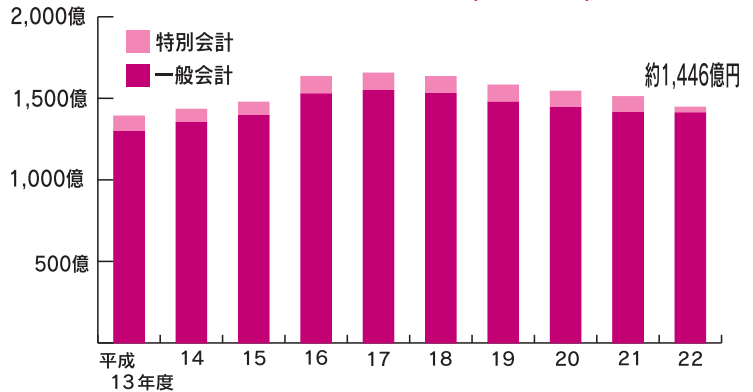


昨年5月に完成した北部墓地(第1期整備分)

市の借金(市債)はどれくらい?

「市債」とは市の借入金のこと。将来にわたって返済していくので、道路や学校など永続的に役立つ施設の建設費を次世代にも平等に負担してもらうこととなります。

秋田市の市債残高の推移(各年度末)



市の財務資料を ご覧いただけます

市の予算や決算に関する資料は、市ホームページでご覧いただけます。
<http://www.city.akita.jp/city/fn/mn/info.htm>

問い合わせ 財政課 ☎(866)20052



経常収支比率▼92・0%

21年度の率▼90・1% 類似都市平均値▼89・5%

人件費、扶助費など毎年支出される経常的経費に、市税など毎年入る経常的一般財源がどの程度使われているかを示す数字です。80%を超えると、財政が硬直化傾向にあるといえます。秋田市の場合、昨年度から1・9ポイント上昇し、今年度は類似都市に比べて2・5ポイント高くなっています。

※類似都市…平成22年4月1日現在における中核市で、平成17年度国勢調査人口が40万人未満の都市(21市)。

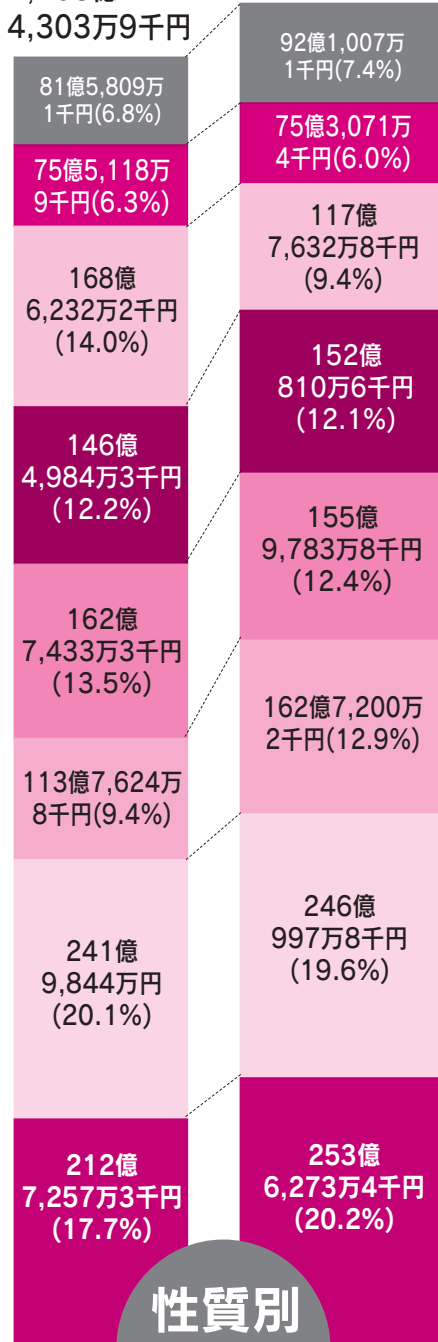
歳出

平成22年度
1,255億
6,777万1千円

平成22年度
1,255億
6,777万1千円

平成21年度
1,203億
4,303万9千円

平成21年度
1,203億
4,303万9千円



その他

繰出金 特別会計への支出(介護保険事業へ約31億円など)

補助費等 負担金、補助金など

物件費・維持補修費 需用費、旅費、備品購入費など

公債費 市債の返済経費

投資的経費 施設や道路などを建設する経費

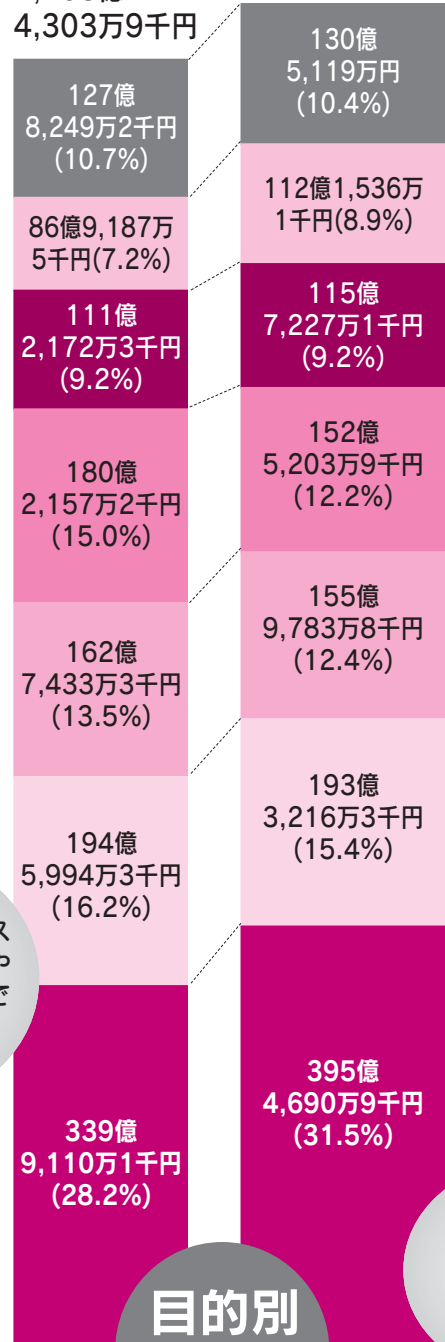
人件費 市職員の給与など

扶助費 生活困窮者、身体障がい者への生活維持費など

北部市民サービスセンターの整備や斎場の改築などで増えました



目的別



その他 商工費約62億円、消防費約37億円など

衛生費

教育費

土木費

公債費

総務費

民生費

増えた約56億円のうち、約45億円が子ども手当です

平成22年度一般会計のおもな使いみち

●民生費：子ども手当、高齢者や身体・知的障がい者の施設への補助、保育所への補助、生活保護、後期高齢者医療制度負担金、児童館などでの放課後児童の健全育成など

●総務費：中通一丁目地区市街地再開発、選挙、北部市民サービスセンター整備、町内会への助成など

●土木費：除排雪、都市計画道路、市道や公園の維持・修繕など

●教育費：幼稚園の就園奨励費補助、小・中学校の増改築や耐震補強工事、体育施設の維持・管理など

●衛生費：斎場改築、ごみ処理施設の更新、家庭ごみの収集、妊婦や乳幼児などの健康診査や予防接種、各種検診、自殺予防対策など

●その他：中小企業への融資あつせん、就業支援、災害復旧、消防、議会の運営など



昨年5月にオープンした北部市民サービスセンター